

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年1月7日(2010.1.7)

【公表番号】特表2009-515914(P2009-515914A)

【公表日】平成21年4月16日(2009.4.16)

【年通号数】公開・登録公報2009-015

【出願番号】特願2008-540489(P2008-540489)

【国際特許分類】

C 0 7 C 213/02 (2006.01)

C 0 7 C 219/08 (2006.01)

C 0 7 C 213/10 (2006.01)

C 0 7 B 61/00 (2006.01)

【F I】

C 0 7 C 213/02

C 0 7 C 219/08

C 0 7 C 213/10

C 0 7 B 61/00 3 0 0

【誤訳訂正書】

【提出日】平成21年11月6日(2009.11.6)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項10

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項10】

エステル交換触媒が、反応媒質と均一であり、好ましくは触媒が液体である、請求項1~9のいずれか1項記載の方法。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】請求項23

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【請求項23】

化合物 R_1COOR_3 (I)を、エステル交換触媒の存在下、反応媒質中で、エステル化合物 R_1COOR_2 (II)とアルコール R_3OH (III)とのエステル交換反応により作製する方法であって、ここで、 R_1 が、H又は C_{1-4} アルキル又は $CH_2=CR_4-$ であり； R_2 が、 C_{1-4} アルキルであり； R_3 が、少なくとも4個の炭素原子を有するアルキル、少なくとも5個の炭素原子を有するシクロアルキル、アリール、アラルキル、アルカリール及びアミノアルキルからなる群より選択され；そして R_4 が、-H又は $-C_{1-4}$ アルキルであり、アルコール R_2OH (IV)が副産物として形成され、触媒が反応媒質と均一であり、好ましくは触媒が液体である方法。

【誤訳訂正3】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0026

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0026】

あらゆる従来 of エステル交換触媒を使用して本発明の方法を実施することが可能であり

、典型的な触媒は、従来技術において、例えば上記の文書において考察されている。適切なエステル交換触媒は、一般に金属化合物である。好ましい触媒には、スズ塩、チタン塩、亜鉛塩、ランタン塩、サマリウム塩及びネオジウム塩からなる群より選択される化合物が含まれる。触媒は、反応媒質の全体に容易に分布できることを与える固体であってもよい。適切には、触媒は粒状であることができ、望ましくは、比較的高い表面積を示す。効果的な収量を、固体触媒を用いるそのような不均一系触媒系により達成することができる。

【誤訳訂正 4】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0029

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0029】

本発明の更なる態様において、触媒が反応媒質と均一である場合、エステル生成物への改善された変換及び処理時間を達成できることが見出された。触媒は、反応媒質において可溶性であり、したがってそれに溶解することができるか、又は反応媒質と混和性であることができる。好ましくは、触媒は液体である。特に好ましいエステル交換触媒は、二酢酸ジブチルスズ、二アクリル酸ジブチルスズ、及びトリメチルエチレンジアミン又はペンタメチルジエントリアミンから選択されるリガンドにより可溶性になる金属塩からなる群より選択される。

【誤訳訂正 5】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0041

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0041】

本発明を操作するのに最も好ましい形態は、生成物エステル(I)としてのジメチルアミノメチルアクリレートの連続的製造に関する。この方法は、好ましくは出発アルコール(III)としてのジメチルアミノエタノールと、出発材料エステルとしてのメチルアクリレート(II)とのエステル交換により、均一系触媒を使用して、反応蒸留カラムで実施されるだろう。触媒は最も好ましくは二酢酸ジブチルスズである。好ましい添加溶剤は、ジベンジルエーテルであり、その使用は、メチルアクリレートとメタノールとで形成される共沸混合物の分離をもたらし、反応体の高い変換を達成する。反応は、好ましくは重合阻害剤、特にフェノチアジンの存在下で実施される。好ましくは、反応は空気の不在下で実施される。

【誤訳訂正 6】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0049

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0049】

本発明の更なる態様において、化合物 R_1COOR_3 (I) を、エステル交換触媒の存在下、反応媒質中で、エステル化合物 R_1COOR_2 (II) とアルコール R_3OH (III) とのエステル交換反応により作製する方法であって、ここで、 R_1 が、H又は C_{1-4} アルキル又は $CH_2=CR_4-$ であり； R_2 が、 C_{1-4} アルキルであり； R_3 が、少なくとも4個の炭素原子を有するアルキル、少なくとも5個の炭素原子を有するシクロアルキル、アリール、アラルキル、アルカリール及びアミノアルキルからなる群より選択され；そして R_4 が、-H又は $-C_{1-4}$ アルキルであり、アルコール R_2OH (IV) が副産物として形成され、触媒が反応媒質と均一である方法が提供される。